

学 位 論 文 要 旨

氏 名 池田 誠喜

題 目 レジリエンスを実現するための学校教育実践に関する研究

学位論文要旨（和文2,000字又は英文1,000語程度）

本論文は3部で構成されており、第1部は学校教育に活用するための、レジリエンスの概念及び実践報告をレビューし、その実態を整理したものである。第2部は、第1部で構築されたレジリエンスアプローチに関連する心理学的概念との異同を踏まえ、学校教育に活用できるレジリエンスアプローチを実践し、定性的・定量的調査によって検証した後、結果を基にして計画された実践を行い、その成果を検討した。第3部は、第1部及び第2部の内容を整理して、学校教育に適用するレジリエンスアプローチの可能性を展望した。

第1章では、児童生徒の望ましい発達を予測し、学校適応や学習達成にも効果を発揮すると期待されるレジリエンスについて、発達精神病理学及び発達心理学、臨床心理学、欧米の学校教育におけるレジリエンス研究及び実践を調査し、レジリエンスの実態を詳細に明らかにした。まず、レジリエンスの定義の比較検討、レジリエンスの近似概念との異同について検討を行い、レジリエンスが心理学概念として、どのような領域と関連しているのか、定義の曖昧さが示しているものはなにかを探ることにより、レジリエンスの全体的なコンセプトを提示した。

第2章では、第1章を受けて、レジリエンスの考えを学校教育に取り入れるための理論的考察を行った。まず、欧米の学校で取り組んできた、レジリエンスアプローチを調査した。アメリカの学校が、レジリエンス教育を採用した歴史的経緯と、学校教育に取り入れた実践事例を紹介した。また、本研究におけるレジリエンスの定義を「困難な状況やダメージを受けた状態においても、環境との相互作用の中で、回復もしくは健康を維持するための心理的機能の働きを活性化して、再び環境との相互作用において立ち直りを実現する道のり」とし、レジリエンスをプロセスとして捉えるKumpfer(1999)のResilience Frameworkモデルを取り入れたレジリエンスアプローチを構想した。

第3章では、レジリエンスを実現するためのアプローチを構築するため、レジリエンスが発展してきたこれまでの経緯を踏まえ、レジリエンスのコンセプトに関連があり、かつ、レジリエンス研究の基礎を作ってきた「発達精神病理学」とレジリエンス概念が包含されているポジティブ心理学領域のアプローチを検討し、レジリエンスを実現するための要因や方法についての検討を行った。さらに、生物・心理・社会モデルの視点からレジリエンスを検討して、生物学的なストレス反応とレジリエンスの関係についてまとめた。最後に、これまで

のレジリエンス概念の理論的整理を基に、学校教育におけるレジリエンスの実現に向け、①ネガティブな原因やリスクを取り除こうというモデルではなく、良い面をのぼす、知られていない面を開発するというストレングスアプローチの視点、②学校教育の期間に成功体験や活動に熱中するなどの経験をさせる取り組み、③その場での効果だけではなく、長期的な効果を念頭に置いた教育実践、④ポジティブな感情を起こさせるための相補的なコミュニケーションの実践、という4つアプローチ構想した。

第4章～第7章では、レジリエンスアプローチの実践事例を報告するとともに、第8章において実践報告事例の異同を検討し、検証結果を統合した。

第9章ではスクール・エンゲージメントとレジリエンスの関連を定量的な手法を用いて検証した。結果、中学生がスクール・エンゲージメントの状態を保つことにより、中学校生活内外で良好な帰結・結果・状況を導くスクール・エンゲージメント-レジリエンシー関連パスモデルの適合が示された。さらに、第10章において、スクール・エンゲージメント-レジリエンシー関連パスモデルを用いた実践事例を報告した。事例の検証の結果、スクール・エンゲージメントがレジリエンスの実現に寄与することが示唆された。

第11章では、各事例の報告から、レジリエンスアプローチの効果について理論的な考察を行った。4つのポイントの考察を整理すると、レジリエンスがポジティブな志向に関係が深く、誰もが持ち合わせている力や道具を発揮する場を提供することによって良循環を作り出すことが示唆された。レジリエンスアプローチで掲げた4つのポイントは循環サイクルの中に組み込まれており、どのポイントからスタートしても4つのポイントが活性化する可能性があることが示唆された。このことから、学校教育で行われるレジリエンス実現のための取り組みは、特別な取り組みではなく、現在のシステムを変えなくても、現行の学校カリキュラムの中でも十分取り組める可能性があることを示した。

さらに、課題として、生得的な要因によるレジリエンスの実現の難しさや現時点での限界について言及した。